

令和3年度 大阪府立箕面高等学校 第1回学校運営協議会 議事録

校名	大阪府立箕面高等学校
校長名	石田 利生

開催日時	令和3年7月27日(火) 15:00~17:00
開催場所	大阪府立箕面高等学校 校長室
出席者(委員)	湯峯会長、石橋副会長、星川委員、松原委員、黒田委員、宮下委員、
出席者(学校)	石田校長、谷廣教頭、藤原事務長、森田首席、高木首席、佐々木進路指導主事
傍聴者	なし
協議資料	資料1 次第 資料2 大阪府立箕面高等学校 学校運営協議会 実施要項 資料3 新型コロナウイルス感染症に係る第1回学校運営協議会の実施等について 資料4 令和3年度 学校運営協議会委員名簿 資料5 令和4年度使用教科用図書の選定状況 資料6 令和3年度 進路実績 資料7 令和3年度 学校経営計画
備考	新型コロナウイルス感染拡大防止のためWeb会議システムおよびメールによる意見聴取により実施

議題等(次第順)
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 保護者からの意見書の提出状況</li> <li>2. 令和4年度使用教科用図書の選定状況(資料5)</li> <li>3. 令和3年度の進路実績(資料6)</li> <li>4. 令和3年度学校経営計画(資料7)</li> <li>5. その他</li> </ol>

協議内容・承認事項等(意見の概要)
<p>(1)保護者からの意見書の提出状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 前回の協議会以降、保護者からの意見書の提出はなかったことを報告させていただく。</li> </ul> <p>(2)令和4年度使用教科用図書の選定状況(資料5)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 選定理由書のとおり、5つの観点から適正に選定されていることを報告させていただく。</li> <li>○ 意見・質問等 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新教育課程となる次年度1年生の教科書選定がどのようになるか楽しみ。今回何か目立つようなことがあれば教えていただきたい。 <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒ 新教育課程における、特に新たな教科・科目への対応がポイント。生徒たちに21世紀型スキルを身に付けさせることを考え、各教科において選定している。</li> </ul> </li> <li>・ 例えば小学校ではQRコードを使った新しい教科書による授業の取組みが行われ、理科や英語の授業もずいぶん変わってきていると聞いている。高校においても新たな取組みに期待したい。</li> <li>・ 中学校においては自治体で一括して共通の教科書を選定しているが、高校においては、例えば数学の教科書発行者が学年によって異なるようなことはあるのか。 <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒ 学年によって異なることもありうるが、すべて教科ごとに、最終的には学校として責任をもって選定している。</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>

### (3) 令和3年度の進路実績(資料6)

#### ○ 資料6を説明

#### ○ 意見・質問等

- ・ 共通テストの導入やコロナの影響で大学の選び方に変化はあったか。  
⇒ 指定校募集が多かった。不安感や安全志向が働き地元の近隣校を選ぶと思っていたが、地方の国公立大学など第一志望に向けて頑張っていた生徒も多かった。
- ・ 新しい取組みなど進路指導に力を入れたことはあるか。  
⇒ 何を学ぶために大学に行くのかを考えさせる機会や、難関大学の見学会など本物に触れさせる機会を多く設けている。
- ・ コロナの影響で大学入試自体も実施されるのか不安だった。出願状況も変化している。箕面高校では変化がなかったようだが、普段からどのように指導されているからか。関東の大学を志望する生徒もいるが何か特別な理由はあるか。  
⇒ 校内の連携を強化し、生徒・保護者の両方に説明を行った。進路指導三者面談では、どの大学に行きたいか、生徒にプレゼンテーションさせた。その中で、関東の大学を志望する者も一定数いた。
- ・ 今の子どもたちはあまり遠くに行きたがらない。親から巣立つという意味でも、幅広い進学実績づくりをどんどん進めていってもらいたい。
- ・ 大学へ行く目的を考える機会を設ける取組みや大学の実際の姿に触れられる機会は大変貴重で、高3受験生の親として羨ましい限り。

### (4) 令和3年度学校経営計画(資料7)

#### ○ めざす学校像を実現するための中期的目標を4つ挙げている。PTAでも書面承認いただいている。

#### ○ 今年度のキーワードは「人生の物語を編める生徒」を育てること。社会で求められる資質・能力と合致するか。2030年の未来社会に向け、自己実現できるか、生活できるかが重要である。

#### ○ 今年度「学習指導室」を設け、SGH・SSGなどのような探究的な学び、課題解決力や思考力を身に付ける学びを実現できるよう、組織的な授業改善に取り組んでいる。

#### ○ 外部リソースを活用し、本物と出会う場を設定することに力を入れている。PTA主催の進路講演会実施や、企業との協力もあった。海外大学に一番近い府立高校として、海外大学に通う卒業生30人程度による交流会も開催した。

#### ○ 箕面市との交流はこれまであまりなかったが、今後は連携していきたい。

#### ○ 意見・質問等

- ・ 今の社会に必要な力を付けるためには、いろんな選択ができることが重要。現状では0.02%の社会しか見ることができていない。世界は広いので、もっと視野を拡げることが必要である。
- ・ 10年後にどんな仕事が残っているのか予測できないような状況であるからこそ、今からしっかり備えておくことが必要。
- ・ 箕面高校では、生徒が強い志で頑張ることができるよう環境を整えてくれており、いろんな面で恵まれている。
- ・ 箕面高校の自由な校風も一時は萎んでいたようだが、この校風は今後も受け継がれていこう。自主性を発揮できる生徒たちは幸せである。
- ・ 社会が何を求めているのか、わかりにくい世の中。教員が環境づくりを行い、生徒は伸び伸びと取り組むが、結局は自分の力で切り開いて自分で答えを見つけるしかない。
- ・ よりよく生きるための力を高校3年間だけで身に付けるのは無理がある。中学校から6年間、あるいは小学校から続けてもよい。オリンピック選手のように、追い込まれても精神力・平常心を保つことができる生徒を育ててほしい。
- ・ 海外大学に最も近い府立高校として、TOEFLのような留学につながるテストへの取組みについて、今後の検討を期待。

(5)その他

- 今回はWeb開催のため授業見学がなかったが、学校の様子をよくわかっていただく意味でも、次回はぜひ授業を見ていただきたい。

次回の会議日程

日時	未定(令和3年11月頃を予定)
会場	大阪府立箕面高等学校 校長室